

今後の合成アルコールの供給について

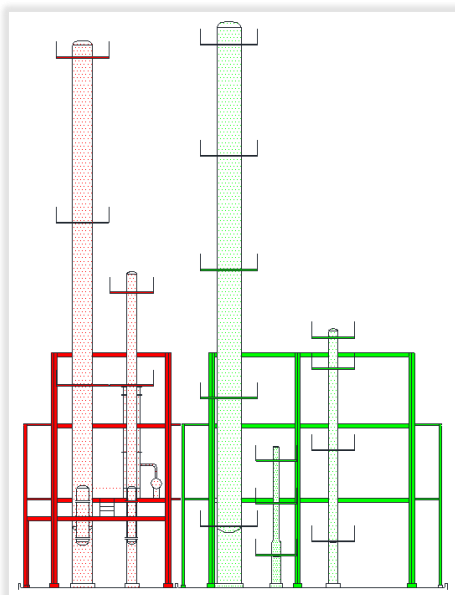
日本合成アルコール株式会社
代表取締役社長 守谷 治

1. 当社は、これまで主として東日本のお客様に対して合成アルコールを安定供給して参りましたが、三菱ケミカル株式会社における合成アルコールの生産・販売終了を踏まえ、今後は、日本全国の合成アルコールのユーザー様に対し、合成アルコールの安定供給の責務を果たして参ります。
2. 当社は、今後の合成アルコールの需給の構造的変化に柔軟に対応し、引き続き安心・安全な製品を安定的な価格で提供することをお約束いたします。このため、今般、以下の設備投資を実施する方針を決定いたしました。

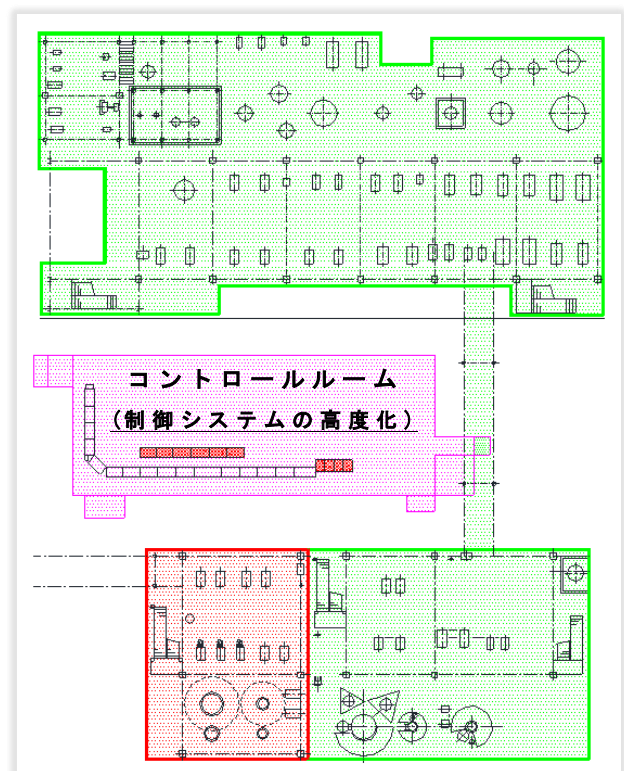
(1) 第1フェーズ

2022年度末を目途に蒸留設備の増強及び制御システム(DCS)の高度化等を実施することにより、以下の生産能力を確保いたします。

- ▶ 含水製品：最大生産能力200kL/日
(年間最大60,000kL[稼働300日])
- ▶ 無水製品：最大生産能力200kL/日
(年間最大60,000kL[稼働300日])



(脱水塔・回収塔)
蒸留設備の増強



(脱水塔・回収塔)
蒸留設備の増強

(2) 第2フェーズ

さらに、2026年度以降、合成アルコール市場の成長に合わせて、反応塔更新等による更なる供給能力追加についても検討してまいります。

3. 合成アルコールの製造メーカーとして、今後とも合成アルコールの安定供給の責務を強い決意をもって果たして参ります。